

1 審議会等の名称	第13回三重県観光審議会
2 開催年月日	平成30年9月14日(金)
3 委員	【会長】埼玉大学 教授 石阪督規 ほかに12名出席
4 諮問事項	2030年を見据えた三重県の観光施策について
5 調査審議結果	<p>次期三重県観光振興基本計画策定に向け、概ね10年先となる2030年の三重県観光のあるべき姿を審議いただきました。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、インバウンド需要は確実に増えるので、この需要をしっかりと取り込むには、アクセスとコミュニケーションが重要である。 ・三重県の魅力をどういう層にリーチするのか、しっかり考え、顧客層ごとに、きめ細やかなサービスを提供していくべき。体験でも付加価値をつけたエクスクルージブ（特別感）のあるものが必要である。 ・1980年代から2000年代前後に生まれたいわゆるミレニウム世代は、今後、旅行の流れをつくりだす元気があり、アプローチして取り込むべき。 ・宿泊施設や体験施設等の観光地の魅力向上に向け、人材育成を進めることが必要。また、外国人の活用も検討すべき。 ・被災時の観光地における観光客への対応について、地域全体で取り組む課題として検討すべき。 ・日本以外は、キャッシュレスが当たり前であるので、三重県は日本一のキャッシュレス県をめざすべき。
6 備考	